

熊本駅新幹線口駅前広場の混雑対策について

1. 背景

新幹線口駅前広場の整備後、駅周辺の開発や道路の整備が進み、広場利用者は増加傾向にあり、広場内の混雑も顕著になってきている。今年度に白川口駅前広場も完成予定であり、今後も周辺開発とともに広場の利用者が増加する見込みであるため、対策を検討するもの。

2. 現状と課題

- 整理場待ちの車や降車場の長時間停車が一因となり渋滞が慢性化 **写真①**
- 一般車、タクシー、団体バスが混在し、車両動線が交錯 **写真②**
- 駅の周辺開発が進み、駅利用者が増加 **写真③**

駅前広場の抜本的な見直しが必要 ⇒ 調査・検討の実施

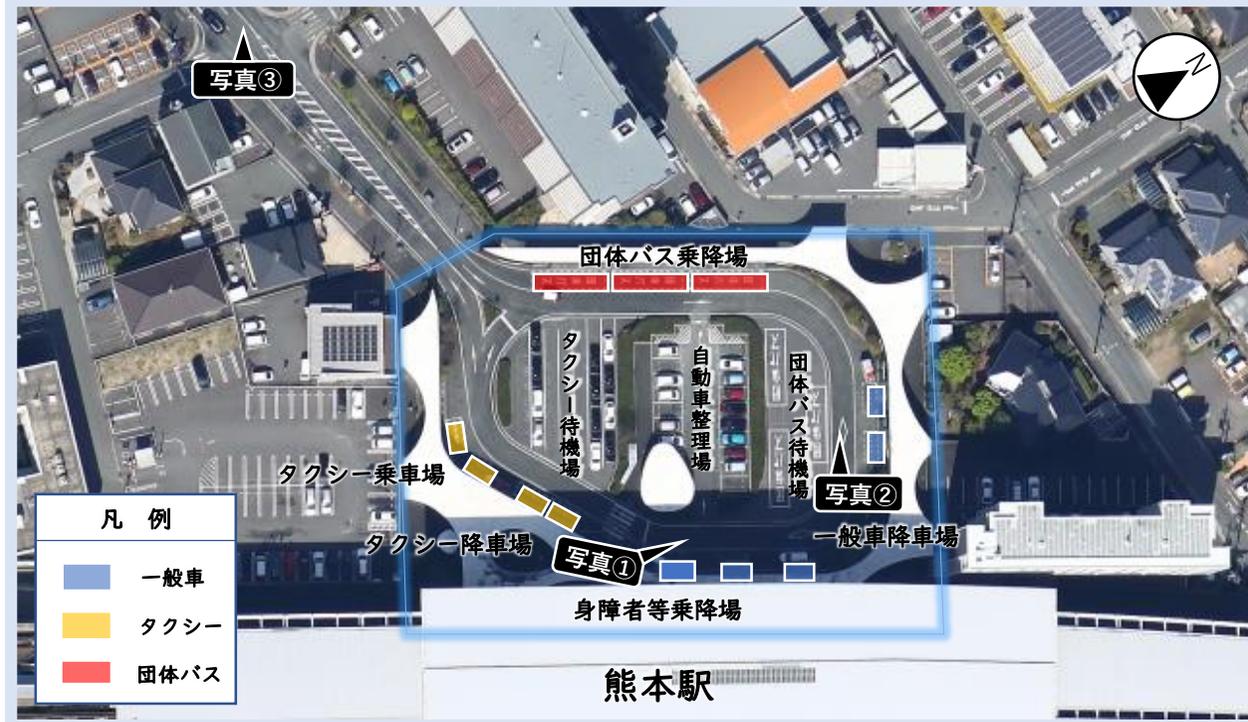
3. 検討内容

- 利用状況に関する意見を把握
- 交通機能円滑化のため乗降場や動線等の検討（広場外用地の利活用も含めた検討）
- 交通機能再配置を行うための再整備の検討

4. スケジュール（案）

年度	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
見直し検討	対策検討		
設計			
工事			

【駅前広場航空写真(令和2年3月)】 駅前広場面積：約5,700㎡



写真① 整理場で待つ車が並び、道路を閉塞



写真② 一般車等が混在し、大型バスが通行しにくい



写真③ ピーク時は付近の交差点まで渋滞が発生

